

令和5年度 共同生活援助事業 結果報告

社会福祉法人 清和会
つくしの里
グループホーム事業所

1. 入居者の状況 (3月末現在)

定員	16名	入居者	16名
----	-----	-----	-----

○性別

男性	女性	合計
9名	7名	16名

○支援区分別

区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	なし	合計
5名	3名	6名	2名	0名	0名	0名	16名

○年齢別

65歳以上	60～64歳	50歳代	40歳代	30歳代	20歳代	合計
6名	2名 (-2)	0名	5名 (+1)	2名 (-1)	1名	16名

○日中活動別

つくしの里生活介護	外部の生活介護	デイサービス(高齢者)	合計
14名	1名	3名	18名

※日中活動のうち、1名は生活介護とデイサービスを併用。

※外部の生活介護利用者1名は、つくしの里の生活介護も契約。

2. ホームの運営について

○配置基準について

令和5年度は、生活支援員の配置は+0.3人。

○世話人の採用について

3月末に1名退職。4月からの採用に向け、3月に1名体験利用を行う。

○新規入居者の受け入れについて

なし。

○入院等なし。

3. 入居者の生活支援等

○新型コロナウイルス感染症が、5月8日より感染症法の位置づけが5類になり、感染対策の基準を緩和した。しかし、日中のサービス事業所で感染が確認されたことによる受け入れ自粛等については、状況に応じて対応した。また、外部事業所とは状況を確認しながら通所利用を行った。

○総合訓練は2回実施（9月26日、11月16日）。歩行器及び車椅子を使用している入居者2名の避難の仕方を確認した。

○忘年会をしたいとの利用者の申し出により、12月23日に実施した。

○加齢に伴い、右大腿骨転子部を骨折し車いすを利用されている方の体力の低下が顕著であり、後見人さんと本人の状態にあわせた今後のステージ（高齢者施設等）への移行も検討した。現在、高齢者介護施設への入所申請中。

4. 事故防止について

○事故報告書32件。（転倒10件。薬関係10件。暴力件数9件。破損3件）。転倒は7件が同一者。9件が65歳以上となっている。1名に関しては、居室での排泄中の転倒が多く、家具の配置、夜間時のケアの方法なども変更して対応した。薬関係は忘れ6件、間違い3件、落薬1件。暴力は4件が同一者。利用者間のトラブルからのものが多いが、1件は熱湯を足にかけるといった事案も発生した。この他、デイサービス時での暴力が2件。

○金銭紛失2件。1件は居室保管の財布より5,000円。1件は外泊時に持ち帰るように財布（12,480円）をバッグに入れるが、帰ホーム時に不明。外泊時に家族への引継ぎができていないため施設にて補填。外泊時の引継ぎ・対応方法を見直した。

5. 設備整備

以下の通り、予定していたガス乾燥機、つくしんぼリビング・厨房間扉設置は施工済み。

項目	予算	決算	備考
ガス乾燥機	¥554,000	¥336,600	9月施工済み(3台⇒2台)
つくしんぼリビング・厨房間扉設置	¥151,000	¥150,700	7月施工済み

項目	予算	決算	備考
I Hコンロ(一口)取替修理	¥0	¥144,750	5月修理済み

ガス乾燥機を設置したことで、雨天時の洗濯物対応ができるようになった。ガス代等にも配慮して、使い方も周知した。リビング・厨房間の扉設置により、冷蔵庫内の紛失が減った。

6. 職員の専門性の強化推進

○世話人会議を月一回開催。オンライン研修を含む、障がいについて、虐待防止、救急法、感染症についての研修を行った。事故事例、各マニュアルについて確認した。また、利用者さんからの要望についても、利用者さんを交え協議した。

7. まとめ

5月より新型コロナウイルス感染対策の基準を緩和し、コロナ禍前の日常に戻しているが、一年を通し、世間でのインフルエンザの流行もあり、基本的な感染防止の対策として手洗い・うがいを励行し注意した。コロナ関連については、10月、12月、1月と本体施設で複数名のコロナ発症があったため、グループホームで過ごされることがあった。

16名定員で半数の8名が60歳以上となる。65歳以上は、6名であるが、3名は介護保険を利用。他3名は市町村の裁量により障がい者総合支援法内でサービスを受けている。高齢者の体力低下が顕著であるため、体力維持・健康面への配慮にも注力する必要がある。

今年度は、服薬関係も含め事故・トラブルが多かった。高齢者と40歳代以下の方たちとで趣味・嗜好を含む生活スタイルが変わるため、生活の質を高めるには職員の質の向上も必要となる。幅の広い年代へ対応できるようにしていくとともに、利用者へは世代間を超えた関係性の構築につながるよう、仲を取り持てるようにコミュニケーション力をつけることが不可欠と思われる。

世話人さんについても高齢化の問題があるため、事故防止も含め、引き続き、採用について取り組んでいきたい。